

花いっぱい運動（案）について

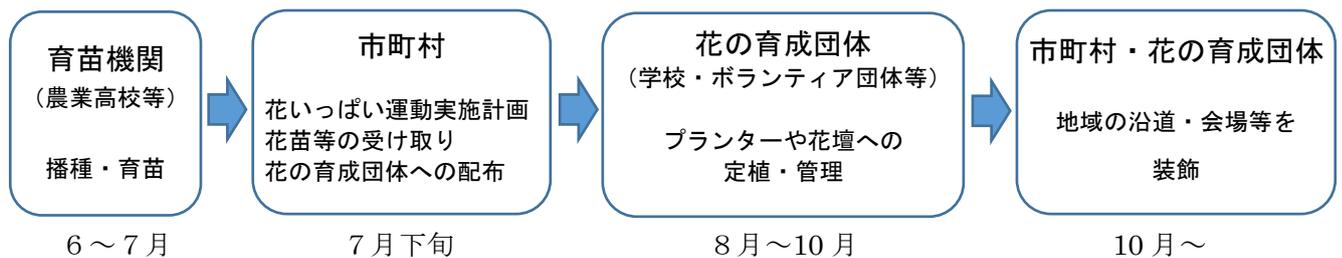
1 花いっぱい運動とは

選手、監督をはじめとする全国からの来県者を、県民の育てたたくさんのお花でお迎えし、歓迎の気持ちを伝えるとともに、大会終了後も、県民が推奨花を見るたびに国スポ・全障スポを思い出し、その成果を継承しようとするにより、地域の活性化につながる取組としたい。

2 花いっぱい運動の進め方

試験栽培及びリレー型栽培の実証栽培を経て、農業高等学校及び農業関係機関、中学校、小学校と苗を引き継いで、リレー型栽培を行う。その他、社会福祉施設やボランティア、幼稚園等にも協力を依頼する予定。このリレー形式で栽培された花々を市町村に活用していただくことで、花いっぱい運動の推進と国スポ・全障スポ開催の気運醸成を図る。

【リレー型栽培のイメージ】



3 推奨花を選定する目的

県の園芸機関等、農業系高校、花づくり団体等の有識者による推奨花選定部会を設置し、県民の皆様にも広めていただくおすすめの花として、見栄えが良く、育てやすい、近年の長野県の気候や地形の特性を踏まえた推奨花を選定する。

4 参考

(1) 試験栽培

推奨花の開花時期、育て方等を検証するため、県内農業高等学校に協力を要請し、令和7年度より試験栽培を実施する。

(2) 育て方の普及

試験栽培の結果等を基に、推奨花の特徴や花の育て方等を分かりやすくまとめた「花育てガイド」を作成し、ホームページに掲載するとともに、「花育てガイドブック」を学校や協力団体等に配布する。

(3) 開催までのスケジュール

年度	実施計画
令和5年度	推奨花選定部会設置準備
令和6年度	推奨花選定部会設置 第1回推奨花選定部会開催 推奨花及び栽培スケジュールの決定 試験栽培の準備
令和7年度 (開催決定)	農業高校に小規模試験栽培の依頼 花づくりガイドの作成と配付
令和8年度 (開催2年前)	花育てリレー試行栽培
令和9年度 (開催1年前)	開催年を見据えた生産・供給体制での花育てリレー 試行栽培 リハーサル大会会場等装飾の試行
令和10年度 (開催年)	本栽培 花育てリレーの展開

(4) 先催県の開催年の栽培数

開催県（開催年）	推奨花の種類数	種苗数	プランター数
福井県（2018）	13種	71,200株	18,000基
茨城県（2019）	12種	—	42,400基
鹿児島県（2020） <small>（2023年へ延期のため 2019年時の予定数）</small>	13種	122,760株	30,690基
三重県（2021）	中止		
栃木県（2022）	6種	140,000株	35,000基